

山下清海先生略歴・著作目録

雑誌名	筑波大学人文地理学研究
巻	37
ページ	?-?
発行年	2017-03
URL	http://hdl.handle.net/2241/00145937

山下清海先生略歴・著作目録

略 歴

- 1951年11月9日 福岡市に生まれる
- 1970年3月 福岡県立修猷館高等学校卒業
- 1971年4月 東京教育大学理学部地学科地理学専攻入学
- 1975年3月 同上卒業
- 1975年4月 筑波大学大学院博士課程地球科学研究科地理学・水文学専攻入学
- 1978年11月 文部省アジア諸国等派遣留学生（1980年11月まで）
シンガポール，南洋大学Nanyang University 地理系留学
- 1982年4月 筑波大学大学院博士課程地球科学研究科地理学・水文学専攻単位
修得退学
- 1982年4月 筑波大学地球科学系準研究員（文部技官）
- 1983年4月 秋田大学教育学部講師
- 1985年10月 秋田大学教育学部助教授
- 1986年3月 理学博士（筑波大学）
- 1992年8月 秋田大学教育学部教授
- 1994年6月 カリフォルニア大学バークレー校Asian American Studies 客員
研究員（文部省在外研究員）（1995年2月まで）
- 1997年4月 東洋大学国際地域学部教授
- 2004年4月 国立大学法人筑波大学大学院生命環境科学研究科教授
- 2005年4月 国立大学法人筑波大学生命環境系教授
- 2013年4月 筑波大学生命環境系地球環境科学専攻長（任期期間2015年3月まで）

現在まで勤めた非常勤講師

秋田大学教育学部
金沢大学教育学部
関西大学文学研究科
京都大学文学部・文学研究科
群馬大学教育学部
慶応義塾大学文学部
埼玉大学教養学部
聖霊女子短期大学

東京外国語大学外国語学部
東京大学総合文化研究科
東京都立大学理学部
東洋大学国際地域学部
名古屋大学文学部・文学研究科
奈良女子大学人間文化研究科
広島大学文学研究科
法政大学人文科学研究科
北海道教育大学釧路分校
山形大学教育学部
立教大学文学研究科・観光学部
早稲田大学教育学部・教育研究科

著作目録

1. 著書

- 1) 『東南アジアのチャイナタウン』(単著). 1987年, 古今書院, 201頁.
- 2) 『シンガポールの華人社会』(単著). 1988年, 大明堂, 163頁.
- 3) 『ふるさと日本全国市町村大事典 秋田県』(監修・執筆). 1992年, ぎょうせい, 277頁.
- 4) 『世界地図を読む－図説世界地理－』(共著:高橋伸夫・山下脩二・菅野峰明・手塚 章・山下清海). 1993年, 大明堂, 209頁.
- 5) 『米づくりのむら』(単著). 1997年, 小峰書店, 55頁.
- 6) 『チャイナタウン－世界に広がる華人ネットワーク－』(単著). 2000年, 丸善, 208頁.
- 7) 『東南アジア華人社会と中国僑郷－華人・チャイナタウンの人文地理学的考察－』(単著). 2002年, 古今書院, 190頁.
- 8) 『華人社会がわかる本－中国から世界へ広がるネットワークの歴史, 社会, 文化－』(単編著). 2005年, 明石書店, 244頁.
- 9) 『エスニック・ワールド－世界と日本のエスニック社会－』(単編著). 2008年, 明石書店, 260頁.
- 10) 『池袋チャイナタウン－都内最大の中華街の実像に迫る－』(単著). 2010年, 洋泉社, 191頁.
- 11) 『現代のエスニック社会を探る－理論からフィールドへ－』(単編著). 2011年, 学文社, 213頁.
- 12) 『改革開放後の中国僑郷－在日老華僑・新華僑の出身地の変容－』(単編著). 2014年, 明石書店, 278頁.
- 13) 『世界と日本の移民エスニック集団とホスト社会－日本社会の多文化化に向けたエスニック・コンフリクト研究－』(単編著). 2016年, 明石書店, 332頁.
- 14) 『新・中華街－世界各地で〈華人社会〉は変貌する－』(単著). 2016年, 講談社, 214頁.

2. 分担執筆

- 1) 田牛－漁業の変遷と漁家の分化(共著:田林 明・山下清海・渡辺恭男・大嶽幸彦・菅野峰明). 1978年, 尾留川正平・山本正三編:『沿岸集落の生態－南伊豆における沿岸集落の地理学的研究』二宮書店, 90-112.
- 2) 砂勞越華人籍貫的人口分布与經濟活動(单著). 1980年, 南洋大学地理系編:『砂汶沙文化考察団報告書』南洋大学地理系, 33-38. [中国語論文]
- 3) 九重飯田高原における生業形態(共著:山本正三・田林 明・山下清海). 1984年, 市川健夫・山本正三・齋藤 功編:『日本のブナ帯文化』朝倉書店, 283-301.
- 4) 阿武隈山地における後背農村(共著:山本正三・石井英也・山下清海・村山祐司・菊地俊夫). 1987年, 山本正三・北林吉弘・田林 明編:『日本の農村空間』古今書院, 266-287.
- 5) 横浜中華街と華僑社会－開港から第二次世界大戦まで－(单著). 1991年, 山本正三編:『首都圏の空間構造』二宮書店, 211-220.
- 6) チャイナタウンの景観と華人の生態(单著). 1991年, 戴 國輝編:『もっと知りたい華僑』弘文堂, 59-75.
- 7) 中国の農業地域－黄土高原の商業的作物の拡大－(单著). 1991年, 農業地域システム研究会編:『世界の農業地域システム』大明堂, 40-52.
- 8) プルネイの地域性と華人社会の特色(单著). 1992年, 今富正巳先生古希記念論文集刊行会編:『馬華文学とその周辺』三冬社, 136-149.
- 9) シンガポールの近代化と華人社会(单著). 1992年, 日中地理学会議編:『アジアの都市と人口』古今書院, 151-164.
- 10) 趨向観光地区化的日本唐人街(单著). 1996年, 蕭効欽・李定国編:『世界華僑華人經濟研究』汕頭大学出版社, 汕頭, 114-119. [中国語論文]
- 11) 世界に広がる華人社会(单著). 1996年, 高橋伸夫・谷内 達・阿部和俊・佐藤哲夫編:『ジオグラフィ入門－地理学でみる日本と世界－』古今書院, 104-107.
- 12) 福建省における華僑送出地域(僑郷)の地理学的考察－その地域的特色と移住先との結びつき－(单著). 1996年, 可児弘明編:『僑郷華南－華僑・華人研究の現在』行路社, 38-55.
- 13) 日本唐人街之観光地区化的進展(单著). 1999年, 陳鴻瑜主編:『邁向21世紀海外華人市民社会之變遷與發展』中華民國海外華人研究学会, 73-85. [中国語論文]
- 14) 八郎潟干拓で誕生したモデル農村 秋田県大潟村(单著). 2002年, 平岡昭利編:『東北－地図で読む百年』古今書院, 89-96.
- 15) 華人社会と地理学(单著). 2003年, 高橋伸夫編:『21世紀の人文地理学展望』古今書院, 437-446.
- 16) 東南アジアの華人社会とチャイナタウン(单著). 2003年, 藤卷正己・瀬川真平編:『現代東南アジア入門』古今書院, 34-48.
- 17) 地域調査法(单著). 2003年, 村山祐司編:『地域研究』朝倉書店, 53-79.
- 18) 東南アジアへの華人の移住(单著). 2007年, 石原 潤・金坂清則・南出眞助・武藤 直編:『アジアの歴史地理1 領域と移動』朝倉書店, 242-251.
- 19) 東京のエスニックタウンを歩こう(单著). 2007年, 松岡憲知ほか編『地球環境学』古今書院, 100-102.

- 20) 八郎潟干拓地 (単著). 2008年, 平岡昭利編:『地図で読み解く日本の地域変貌』海青社, 62-65.
- 21) 中国 (単著). 2009年, 中村和郎・高橋伸夫・谷内 達・犬井 正編:『地理教育講座第Ⅲ巻 地理教育と地図・地誌』朝倉書店, 709-718.
- 22) 東南アジアの華人社会とチャイナタウン (単著). 2009年, 藤巻正己・瀬川真平編:『現代東南アジア入門 改訂版』古今書院, 38-52.
- 23) 阿武隈高原南部における小農複合経営の展開 (共著:山本正三・石井英也・山下清海・村山祐司・菊地俊夫). 2012年, 山本正三・田林 明・菊地俊夫編:『小農複合経営の地域的展開』二宮書店, 18-62.
- 24) 九重山北麓飯田高原における土地利用と集落の発展(共著:山本正三・田林 明・山下清海). 2012年, 山本正三・田林 明・菊地俊夫編:『小農複合経営の地域的展開』二宮書店, 63-103.
- 25) 東京のエスニックタウンー池袋チャイナタウンー (単著). 2013年, 山本正三・谷内 達・菅野峰明・田林 明・奥野隆史編:『日本の地誌2 日本総論Ⅱ (人文・社会編)』〔第2刷 (追補版)〕, 朝倉書店, 575-579.
- 26) Ikebukuro Chinatown in Tokyo: The first “new Chinatown” in Japan(単著). 2013年, Wong, Bernard P. and Tan Chee-Beng eds.: *Chinatown around the world: Gilded ghetto, ethnopolis, and cultural diaspora*. Brill, Leiden, 247-262.
- 27) オールドカマー・ニューカマー (単著). 2013年, 人文地理学会編:『人文地理学事典』丸善出版, 378-379.
- 28) 東南アジアとオセアニアの華人社会 (単著). 2014年, 菊地俊夫・小田宏信編:『東南アジア・オセアニア (世界地誌シリーズ7)』朝倉書店, 31-32.
- 29) 池袋の新華僑と世界の中国人ニューカマー (単著). 2014年, 別冊『環』, 20「なぜ今, 移民問題か」, 藤原書店, 203-208.

3. 学術論文

- 1) 横浜中華街在留中国人の生活様式 (単著). 1979年, 人文地理, **31**, 321-348.
- 2) 急変するシンガポール華人社会ー言語, 教育を中心としてー (単著). 1980年, アジア文化, **5**, 76-82.
- 3) 九州における高冷地の土地利用と集落の発展ー九重山北麓飯田高原の場合ー (共著:山本正三・田林 明・山下清海). 1982年, 人文地理学研究, **6**, 65-116.
- 4) 出島村における伝統的家屋景観の変容 (共著:山下清海・黎 経富・工藤康子). 1982年, 霞ヶ浦地域調査報告, **4**, 29-37.
- 5) Chinese dialect groups and their distribution patterns in Southeast Asia: the case of Sarawak, East Malaysia (単著). 1982年, *Annual Report of the Institute of Geoscience, University of Tsukuba*, **8**, 25-28.
- 6) 東マレーシア・サラワク州における華人方言集団の分布パターンの形成 (単著). 1982年, 地学雑誌, **91**, 332-353.
- 7) 第二次世界大戦前, シンガポールにおける華人方言集団の居住パターン (単著). 1983年, 人文地理学研究, **7**, 27-52.

- 8) 水郷地域における農村景観の変容－東村佐原組新田の場合－（共著：山下清海・黎 経富）. 1983年, 霞ヶ浦地域調査報告, **5**, 63-73.
- 9) 阿武隈高原における小農複合経営の展開－福島県東白川郡鮫川村の場合－（共著：山本正三・石井英也・山下清海・村山祐司・菊地俊夫）. 1984年, 人文地理学研究, **8**, 59-120.
- 10) 民族集団のすみわけに関する都市社会地理学的研究の展望（単著）. 1984年, 人文地理, **36**, 312-326.
- 11) シンガポール華人移民の適応様式－海南人の場合－（単著）. 1985年, 秋田大学教育学部研究紀要（人文科学・社会科学）, **35**, 141-155.
- 12) シンガポールにおける華人方言集団のすみわけとその崩壊（単著）. 1985年, 地理学評論, **58**, 295-317.
- 13) The residential segregation of Chinese dialect groups in Singapore: With focus of the period before ca.1970（単著）. 1986年, *Geographical Review of Japan, Ser.B*, **59**, 83-102.
- 14) Breakdown of the residential segregation of dialect groups in Singapore（単著）. 1987年, *Science Report Institute of Geoscience, University of Tsukuba, Sect.A*, **8**, 129-146.
- 15) 中国甘肅省蘭州の地誌学的考察－黄土高原, 黄河上流の都市の地域性－（単著）. 1987年, 秋田大学教育学部研究紀要（人文科学・社会科学）, **37**, 101-114.
- 16) 八郎潟中央干拓地・大潟村における農業景観と土地利用（単著）. 1987年, 秋大地理, **34**, 19-26.
- 17) 雪国に関する人文地理学的研究の展望（単著）. 1988年, 秋田大学教育学部研究紀要（人文科学・社会科学）, **38**, 247-257.
- 18) 僑郷としての広東省潮州地方の社会地理学的研究－華僑送出地域と東南アジア華人社会との結びつき－（単著）. 1990年, 秋田大学教育学部研究紀要（人文科学・社会科学）, **41**, 149-159.
- 19) 東マレーシア, サバ州サンダカンにおける華人系カカオ・プランテーション農業（単著）. 1990年, 秋田大学一般教育総合科目研究紀要 諸民族の社会と文化, **1**, 23-36.
- 20) 第二次世界大戦後, 日本における東南アジアの地理学的研究－その成果と課題－（単著）. 1992年, 経済地理学年報, **38**, 37-50.
- 21) 新加坡華人方言集団居住型態の形成及変化（単著）. 1992年, 汶萊客属公会三十週年紀念特刊（ブルネイ客属公会）, 134-141. [中国語論文]
- 22) 日本における中華街の形成と発展－「エスニック・タウン」の観光地化－（単著）. 1993年, 都市経済研究, **2**, 59-66.
- 23) 横浜中華街と大久保エスニックタウン－日本における新旧2つのエスニックタウン－（共著：山下清海・秋田大学地理学研究室学生）. 1997年, 秋大地理, **44**, 57-68.
- 24) 東南アジア華人の食文化に関する地理学的考察－シンガポール・マレーシアを中心に－（単著）. 1998年, 国際地域学研究, **1**, 119-129.
- 25) 韓国華人社会の変遷と現状－ソウルと仁川の元チャイナタウンを中心に－（単著）. 2001年, 国際地域学研究, **4**, 263-275.
- 26) 地図からみた東南アジアへの華人の移住とチャイナタウンの形成（単著）. 2002年, 国際地域学研究, **5**, 229-241.
- 27) Formation and development of Chinatown in Japan: Chinatowns as tourist spots in Yokohama, Kobe and Nagasaki（単著）. 2003年, *Geographical Review of Japan*, **76**, 910-923.
- 28) 公共住宅団地における華人ニューカマーズの集住化－埼玉県川口芝園団地の事例－（共著：江 衛・

- 山下清海). 2005年, 人文地理学研究, **29**, 33-58.
- 29) ラオスの華人社会とチャイナタウンービエンチャンを中心にー (単著). 2006年, 人文地理学研究, **30**, 127-146.
- 30) 都市システムからみた九十九里地域における茂原市の中心性とその変容 (共著: 駒木伸比古・李虎相・藤野 翔・山下清海). 2006年, 地域研究年報, **28**, 1-23.
- 31) 第二次世界大戦後における東京在留中国人の人口変化 (単著). 2007年, 人文地理学研究, **31**, 97-113.
- 32) ブラジル・サンパウロー東洋街の変容と中国新移民の増加ー (単著). 2007年, 華僑華人研究, **4**, 81-98.
- 33) 筑西市下館地域における宅地化の進展過程ー住宅地景観と住民属性に着目してー (共著: 久保倫子・浅井崇俊・久保陽平・岩永初花・高松大樹・中村文宣・藤田和史・山下清海). 2008年, 地域研究年報, **30**, 69-107.
- 34) インドの華人社会とチャイナタウンーコルカタを中心にー (単著). 2009年, 地理空間, **2**(1), 32-50.
- 35) 成田空港周辺におけるインバウンド観光の地域特性ー宿泊施設の経営と外国人旅行者行動の分析を通してー (共著: 鈴木富之・中村文宣・池田真利子・福田 綾・長坂幸俊・山下清海). 2010年, 地域研究年報, **32**, 135-165.
- 36) 福建省福清出身の在日新華僑とその僑郷 (共著: 山下清海・小木裕文・松村公明・張 貴民・杜 国慶). 2010年, 地理空間, **3**(1), 1-23.
- 37) Ikebukuro Chinatown in Tokyo: The first new Chinatown in Japan (単著). 2011年, *Journal of Chinese Overseas*, **7**(1), 114-129.
- 38) 横浜における外国人居留地および中華街の変容 (共著: 齋藤讓司・市川康夫・山下清海). 2011年, 地理空間, **4**(1), 56-69.
- 39) 日立市の機械金属工業における中小企業の自立化 (共著: 中村文宣・神谷隆太・大谷万里絵・鈴木将也・福井一喜・山下清海). 2012年, 地域研究年報, **34**, 137-160.
- 40) 日立市における商業構造の変容 (共著: 小野澤泰子・大道寺 聡・橋本 操・巖 婷婷・陳 麗娜・盧 柳松・大石貴之・山下清海). 2012年, 地域研究年報, **34**, 161-180.
- 41) 浙江省温州市近郊青田県の僑郷としての変容ー日本老華僑の僑郷からヨーロッパ新華僑の僑郷へ (共著: 山下清海・小木裕文・張 貴民・杜 国慶). 2012年, 地理空間, **5**(1), 1-26.
- 42) 地方小都市における商業の役割と機能ー富山県入善町中心市街地を事例にー (共著: 市川康夫・周雯婷・金子 愛・高橋 敦・劉 玲・中村明史・山下清海). 2013年, 人文地理学研究, **33**, 29-66.
- 43) ハルビン市方正県の在日新華僑の僑郷としての発展 (共著: 山下清海・小木裕文・張 貴民・杜国慶). 2013年, 地理空間, **6**(2), 95-120.
- 44) A Comparative study of Chinatowns around the world: Focusing on the increase in new Chinese immigrants and formation of new Chinatowns (単著). 2013年, *Japanese Journal of Human Geography* (人文地理), **65**(6), 527-544.
- 45) 華人社会・チャイナタウン研究からみたフィールドワークの方法ー体験から考えるー (単著). 2014年, 人文地理学研究, **34**, 73-85.
- 46) 常総市における日系ブラジル人の就業・生活形態の地域的特性ーリーマンショックおよび震災後の変容に着目してー (共著: 池田真利子・金 延景・落合李愉・堀江瑤子・山下清海・森 誠). 2014年, 地域研究年報, **36**, 55-90.

- 47) 需給チャネルからみた首都圏外縁部中心市街地の商業特性－茨城県水海道地域を事例に－（共著：福井一喜・神 文也・渡邊瑛季・周 軼飛・薛 琦・中川紗智・市川康夫・山下清海）. 2014年, 地域研究年報, **36**, 1-34.
- 48) モーリシャスにおける華人社会の変容とポートルイスのチャイナタウンの地域的特色（単著）. 2015年, 立命館国際研究, **27**(4), 115-139.
- 49) 茨城県大洗町における海浜観光地域の継続的發展要因（共著：渡邊瑛季・阿部依子・伊藤瑞希・猪股泰広・王 瑩・名倉一希・松原伽那・山下清海）. 2016年, 地域研究年報, **38**, 1-29.
- 50) 茨城県大洗町における日系インドネシア人の定住化要因－水産加工業における外国人労働者の受け入れ変遷の分析を中心に－（共著：金 延景・栗林 慶・川口志のぶ・包 慧穎・池田真利子・山下清海）. 2016年, 地域研究年報, **38**, 31-59.
- 51) 増加・多様化する在留外国人－「ポスト中国」の新段階の変化に着目して－（単著）. 2017年, 地理空間, **9**(3), 249-265.
- 52) サンフランシスコにおけるチャイナタウンの形成と変容－ゴールドラッシュからニューチャイナタウンの形成まで－（単著）. 2017年, 人文地理学研究, **37**, 1-18.

4. その他

- 1) 台湾のサトウキビ栽培地域（共著：山本正三・陳 憲明・山下清海）. 1976年, 地理月報, **234**, 1-5および10.
- 2) 東南アジアの部族農業と小農民農業（共著：山本正三・山下清海）. 1982年, 地理月報, **296**, 1-5および**297**, 1-3.
- 3) アジア地誌に関する本（単著）. 1983年, 地理月報, **311**, 18-19.
- 4) 中国現代化の前戦基地－深圳経済特区の開発と現状（単著）. 1988年, 地理月報, **360**, 1-3.
- 5) シンガポール留学の体験から（単著）. 1988年, 地理, **33**(12), 47-51.
- 6) 広東・福建地方の僑郷（華僑のふるさと）に関する社会地理学的研究（単著）. 1990年, 『福武学術文化振興財団 平成元年度年報』福武学術文化振興財団, 133-138.
- 7) ブルネイの人と生活－石油と水上集落のイスラム王国－（単著）. 1991年, 地理, **36**(6), 61-67.
- 8) 『在日華僑社会の地域的特色に関する文化地理学的研究－東南アジアとの比較検討－』（単著）. 1991年, 平成元～2年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書（研究代表者：山下清海）, 36頁.
- 9) 『日本における中華街（チャイナタウン）の観光地化に関する研究』（単著）. 1992年, 平成3～4年度科学研究費補助金（一般研究（C））研究成果報告書（研究代表者：山下清海）, 51頁.
- 10) 東南アジアのチャイナタウンの伝統と変容（単著）. 1992年, 月刊しにか, **3**(6), 22-27.
- 11) 秋田県横手市の地誌学的考察（共著：山下清海・秋田大学教育学部地理学研究室学生）. 1994年, 秋大地理, **41**, 25-48.
- 12) 『華人・華僑をめぐる最近の動向』（単著）. 1994年, 外務省国際情報局委託調査, 79頁.
- 13) 書評：原 不二夫編『東南アジア華僑と中国－中国帰属意識から華人意識へ』アジア経済研究所. 1994年, アジア経済, **35**(9), 75-78.
- 14) シンガポール（単著）. 1994年, 高橋 彰監修：『地図で見る東南・南アジア』平凡社, 26-29.

- 15) 書評:高橋伸夫・田林 明・小野寺 淳・中川 正『文化地理学入門』東洋書林. 1996年, 地理学評論, **69**, 706-708.
- 16) 東南アジア華人社会における華南の伝統的食文化とその変容. 1997年, 『(財)味の素食の文化センター 助成研究の報告 7』39-43.
- 17) 『アメリカ・東南アジア・日本におけるチャイナタウンの変容に関する比較研究』(単著). 1998年, 平成7~9年度科学研究費補助金(一般研究(C))研究成果報告書(研究代表者:山下清海), 52頁.
- 18) 東南アジアの都市・村落研究における歴史地理学の課題-野間晴雄報告によせて-(単著). 1999年, 歴史地理学, **41**(1), 74-76.
- 19) 書評:太田 勇著, 寄藤 昂・熊谷圭知・堀江俊一・太田陽子編:『華人社会研究の視点-マレーシア・シンガポールの社会地理-』古今書院. 1999年, アジア経済, **40**(7), 69-73.
- 20) 最近における海外華人社会の新たな展開-アメリカのチャイナタウンを中心に-(単著). 1999年, 現代中国地理研究会編:『現代の中国地理研究』東京学芸大学地理学研究室, 26-30.
- 21) 東アジア・東南アジア(単著). 2000年, 朝日新聞社編:『朝日ジュニアブック 世界の地理』朝日新聞社, 10-43.
- 22) 『世界のチャイナタウンの地域性と類型化』(単著). 2002年, 平成11~13年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書(研究代表者:山下清海), 49頁.
- 23) シルクロードの時代から海外への窓・広州(単著). 2002年, 週刊朝日百科世界100都市, **18**, 4-5.
- 24) この土地から華僑は世界中へ旅立った-華南都市物語-(単著). 2002年, 週刊朝日百科世界100都市, **18**, 6-9.
- 25) 華人が築いた錫採掘の拠点クアラ・ルンプール(単著). 2002年, 週刊朝日百科世界100都市, **43**, 4-5.
- 26) ラッフルズが開発したコロニアル都市シンガポール(単著). 2002年, 週刊朝日百科世界100都市, **44**, 4-5.
- 27) 華人がつくった街角-国民の八割弱を占める華人の文化が街の底流をつくる-(単著). 2002年, 週刊朝日百科世界100都市, **44**, 18-21.
- 28) シンポジウム「地誌教育のあり方を考える」(単著). 2002年, 日本地理教育学会第52回大会, 新地理, **50**(3), 50-52.
- 29) 移民研究における地理学的研究の特色と課題-椿 真智子・石川友紀報告に寄せて-(単著). 2003年, 歴史地理学, **45**(1), 99-101.
- 30) 華人社会を知る-その見方, 歴史, 現状-(単著). 2003年, 地理, **48**(8), 8-15.
- 31) 世界各地の華人社会の動向(単著). 2003年, 地理, **48**(8), 35-41.
- 32) 華人社会を知るための書籍・HP案内(単著). 2003年, 地理, **48**(8), 48-50.
- 33) 日本華僑華人学会の設立(単著). 2004年, アジア経済, **45**(7), 63-68.
- 34) 世界のチャイナタウン(単著). 2005年, 『NHK知るを楽しむ なんでも好奇心』4・5月号, 日本放送出版協会, 74-80.
- 35) 中国人留学生がみた横浜中華街(単著). 2005年, 『NHK知るを楽しむ なんでも好奇心』4・5月号, 日本放送出版協会, 35.
- 36) 『グローバル化に伴う海外華人社会の動態-新移民と再移住』(単著). 2005年, 平成14~16年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書(研究代表者:山下清海), 53頁.
- 37) 『増加する華人ニューカマーズの中国における送付プロセスの解明』(単編著). 2005年, 平成14~

- 16年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書（研究代表者：山下清海），143頁。
- 38) 日中友好のシンボルとしての池袋チャイナタウンの振興に関する応用地理学的研究(単著). 2006年, 『財団法人福武学術文化振興財団 平成17年度歴史学・地理学助成報告書』158-162.
- 39) 大学院へ進学する者, しない者 (単著). 2006年, 筑波フォーラム (筑波大学), **73**, 184.
- 40) 『バブル経済崩壊後の日本における「新中華街」の設立に関する経済・文化地理学的研究』(単著). 2008年, 平成18~19年度科学研究費補助金(萌芽研究)研究成果報告書(研究代表者:山下清海), 48頁.
- 41) 景観からみる池袋チャイナタウン (単著). 2008年, 地理月報, **503**, 6-7.
- 42) 中国朝鮮族について (単著). 2008年, 『地球の歩き方 大連・瀋陽・ハルビン 2008~2009年版』ダイヤモンド・ビックス社, 159.
- 43) 世界のチャイナタウンからみた横浜中華街 (単著). 2011年, 地図中心, 2011年12月号, 21-23.
- 44) 世界のチャイナタウンの最前線から (単著). 2013年, 井田仁康編『究極の中学校社会科-地理編-』日本文教出版, 90-91.
- 45) 斎藤 功先生のご逝去を悼む (単著). 2014年, 地理学評論, **87**(4), 351-352.
- 46) 書評:横山昭市著『国際関係の政治地理学-現代の地政学-』古今書院. 2015年, 地理学評論, **88**(1), 71-72.
- 47) 書評:戸井田克己著『青潮文化論の地理教育学的研究』古今書院, 2016年, 地理空間, **9**(1), 148-150.
- 48) エディット・ピアフの生誕地も「新・中華街」に (単著). 2016年, 本 (講談社), 2016年10月号, 19-21.
- 49) 書評:ハワード・W・フレンチ著, 栗原 泉訳『中国第二の大陸 アフリカ:一〇〇万の移民が築く新たな帝国』白水社. 2016年, 華僑華人研究, **13**, 117-120.

